

2026年5月11日

各 位

会社名	全保連株式会社
代表者名	代表取締役会長兼社長執行役員 茨木 英彦 (コード番号：5845東証スタンダード市場)
問合せ先 電話番号	執行役員経営企画部部长 長瀬 雅史 050-3124-6500

日本アイ・ビー・エム株式会社と不動産業界における保証サービスの高度化に向けた AI パートナーシップ締結に関するお知らせ

当社と日本アイ・ビー・エム株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：山口 明夫、以下「日本 IBM」）は、AI やデータの活用を加速し、不動産業界における保証サービスの高度化を目指すため、AI パートナーシップを締結しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 背景と目的

当社では、不動産管理会社・オーナー・入居者への業務品質の高度化、保証サービスの信頼性強化を目的に、デジタル技術の活用を積極的に推進しております。一方、近年、社会環境や産業構造の変化に伴い、不動産業界における保証事業を取り巻くニーズは大きく変化し、特に審査を含む保証プロセスにおいては、迅速なサービスの提供および保証結果の妥当性を説明可能な形で示すことに対する社会的要請も高まっており、これらのニーズに応えるため、従来の画一的な保証提供モデルから、データ活用や高度なリスク評価を前提とした保証プロセスへの転換が求められています。

そこで、当社は、AI をはじめとした先進テクノロジーやコンサルティングの豊富な実績を有する日本 IBM と AI パートナーシップを締結し、AI を活用した保証サービスの高度化を目指すことになりました。

2. 主な取り組み領域

当社と日本 IBM は、以下の3領域を重点分野として AI 活用を共同で推進します。

① シームレスな統合 AI 基盤の構築による保証プロセスの高度化

複数の AI エージェントが役割分担しながらデータ、API などとも協調動作できるシームレスな統合 AI 基盤を整備することで、複雑な保証プロセスの高度化を図ります。これにより、保証認定までの期間短縮や審査内容の平準化が期待されます。

② AI と人間の共創による新しい保証モデルの確立でサービスを強化

保証サービスにおけるクレジットやローンの契約、申し込みに関する個人の金融取引に関する信用情報の分析に AI を活用します。AI の分析で、審査の時間短縮や審査基準の標準化や公平性を図りながらも、最終的な判断は人間が行うことで、AI と人間の共創による保証プロセスを構築します。これにより、審査結果の妥当性を担保し、説明できる新しい保証モデルの確立を推進することで、お客様が安心して利用できるサービスの強化を図ります。

③ 仕様駆動開発の活用による開発の生産性向上

当社の審査業務を含む保証サービスにおいて、AI エージェント駆動のエンタープライズ向け開発支援パートナーである IBM Bob などを活用することで、不動産会社向けの業務効率化オンライン・システムなどのシステム開発を高度化します。審査時の要件定義の整理支援、ソースコード作成、テストケース生成といった工程を AI が支援し、開発の生産性向上と品質の平準化を推進することで、保証サービスの構造変革を推進します。

3. 本パートナーシップ提携の相手先の概要

① 名	称	日本アイ・ビー・エム株式会社
② 所	在 地	東京都港区虎ノ門2丁目6番1号 虎ノ門ヒルズ ステーションタワー
③ 代	表 者	代表取締役社長 山口 明夫
④ 事	業 内 容	情報システムに関わる製品、サービスの提供

4. 今後の見通し

当社と日本 IBM は、本パートナーシップを通じて、AI やデータの活用を加速させ、不動産業界の保証サービスの高度化を図ることで、AI を活用した保証サービスの新しいスタンダードの提示を目指します。これにより、当社をご利用いただくすべてのお客様に対し、より迅速で、信頼性が高く、安心して利用できるサービスの提供を実現してまいります。

以上